

様式第1号(1)

*決定伺	課長	課長補佐	主査・係長	係員	担当係員	*貸付番号	
						*貸付年月日	年 月 日
	貸付決定額		金	百万	千	0 0 0 0	円
普通災害家財特別						貸付申込書	
所属所名		組合員証番号		フリガナ	所属課		
				氏名	職名		
申込金額	金	百万	千	0 0 0 0	円	生年月日	昭和平成 年 月 日 (歳)
申込事由 (明細を裏面に記入してください。)	普通・災害家財	1.自動車 2.生活必需品 3.出産 4.物置・車庫・住宅の軽易な補修等 5.その他() 6.他共済より移行				資格取得年月日	昭和平成 年 月 日 (年 月)
	特別	1.医療 2.入学 3.修学(新規・継続) 4.結婚 5.葬祭 6.他共済より移行 [医療・入学・修学・結婚・葬祭]				申込月の給料月額	級 号給 千 円
償還方法	毎月均等償還 ・ ボーナス併用償還						
団体信用生命保険	加入する ・ 加入しない 加入の場合、債務支援保険… 加入する ・ 加入しない						
既借入金の状況	借入年月	貸付種別	月末未償還金(B)	摘要			
	/		, , 円				
	/		, , 円				
	/		, , 円				
	/		, , 円				
物資借入金の有無		有 ・ 無					
貸付限度額		住宅貸付限度額(A)		, , 円			
		既借入金未償還金合計額(B)		, , 円			
		差引限度額(A)-(B)		, , 円			
		普通貸付		(普通貸付限度額) (普通貸付既借入未償還金) , , 円 - , , 円 = , , 円			
		修学貸付		(1月につき15万円)(年度内残修学月数) 150,000 円 × 月 = , , 000 円			
茨城県市町村職員共済組合組合員貸付規則に基づき、上記貸付金を借り受けたいので申込みます。 平成 年 月 日 申込者 住所 氏名 ⑩ 茨城県市町村職員共済組合理事長 殿							
所属所長の意見欄	茨城県市町村職員共済組合貸付規則第8条第4項の規定に基づき、上記貸付申込人に係る貸付事由・借入金額及び給与支給状況等の償還能力を調査し、事実と相違ないものと認めます。						
	本申込書及び別添の書類を送付しますので、ご査収のうえ、審査願いたい。 平成 年 月 日 所属所長 ⑩						

注) *欄は記入しないでください。

注) 申込金額、申込者の氏名は自署とし、印鑑は印鑑登録証明書と同一のものを使用してください。

注) 申込内容に偽りのあることが判明したときは、貸付未償還金について即時償還することとし、詐欺的な行為については、損害賠償請求及び刑事告訴等を申し立てる場合があります。

普通・災害家財・特別貸付明細書

普 通	自動車 自動二輪	車名			購入額	円
		購入先			名義	
		物資立替金 との同時申込	有・無	同時申込み有の場合 物資申込額		円
	生活必需品 (物品購入)	品名及び 購入総額	1.	2.	3.	
		4.	5.	6.		
		7.	8.	9.		
		10.	(購入総額：)			円)
貸	出産	出産者名			組合員 との続柄	
		出産予定日	年	月	日	扶養認定 の有無
		費用合計	円			
付	物置・車庫・ テラス等の施工	施工内容				
	住宅の軽易な 補修・模様替え等	補修・施工 等の理由			施工積	㎡
	塀・土留め・造園	構造又は 様			費用	円
	墓地・墓石の建立				金額	円
	その他 (上記以外のもの)			金額	円	
災 害 家 財 貸 付	自動車	り災状況及び 借入申込理由				
		り災年月日	年	月	日	
	家財	復旧内容 購入内容				
	その他					
		費用合計	円			

注) 自動車購入に係る貸付は、組合員名義および家族名義の車輛を対象としますが、購入者は必ず組合員であることとします。

特	医 療	療 養 者 名		区 分	組 合 員 本 人 ・ 被 扶 養 者			
		傷 病 名		医 療 機 関 名				
		費 用 合 計	円					
入 学	学 校 名	入 学 者 名		組 合 員 続 柄		扶 養 認 定 の 有 無	有 ・ 無	
		学 校 名		学 校 区 分	高校・短期大学・大学・大学院 高等専門学校・専修学校・各種学校 中等教育学校(後期過程)			
		卒 業 予 定 月 年	年 月 (年 制)					
		費 用 合 計	円					
修 学	学 校 名	修 学 者 名		組 合 員 続 柄		扶 養 認 定 の 有 無	有 ・ 無	
		学 校 名		学 校 区 分	高校・短期大学・大学・大学院 高等専門学校・専修学校・各種学校 中等教育学校(後期過程)			
		対 象 学 年	学 年	卒 業 予 定 月 年	年 月 (年 制)		修 学 貸 付 借 入 回 数	第 回
		費 用 合 計	円					
結 婚	結 婚 者 名	結 婚 者 名		組 合 員 続 柄				
		結 婚 年 月 日	年 月 日			扶 養 認 定 の 有 無	有 ・ 無	
		費 用 合 計	円					
付 葬	故 人 名	故 人 名		組 合 員 続 柄				
		葬 祭 年 月 日	年 月 日					
		費 用 合 計	円					

貸付金限度額算出表(住宅貸付額)

組 合 員 期 間	月 数	組 合 員 期 間	最 低 保 障 額 (b)	最 高 限 度 額
1 年 以 上 6 年 未 満	7 月	1 年 以 上 3 年 未 満	100 万 円	1,800 万 円
6 年 以 上 11 年 未 満	15 月	3 年 以 上 7 年 未 満	400 万 円	
11 年 以 上 16 年 未 満	22 月	7 年 以 上 12 年 未 満	700 万 円	
16 年 以 上 20 年 未 満	28 月	12 年 以 上 17 年 未 満	900 万 円	
20 年 以 上 25 年 未 満	43 月	17 年 以 上	1,100 万 円	
25 年 以 上 30 年 未 満	60 月			
30 年 以 上	69 月			

給料月額(注1) 円 × 上記の組合員期間に
 応じた月数 月 = 住宅貸付額(a) 円

住宅貸付限度額(注2) 円(A)

(注1)「給料月額」は、申込時における掛金の標準となる給料月額。

(注2)「住宅貸付限度額」は、算出した(a)、もしくは最低保障額(b)のいずれか高い額で、最高限度額まで。

印鑑登録証明書貼付欄

提出書類一覧

普通貸付

提出書類 \ 貸付事由	1. 自動車	2. 生活必需品	3. 出産	4. 物置・住宅の軽易な補修・塀・墓地等	5. その他
普通・災害家財・特別貸付申込書	◎	◎	◎	◎	◎
印鑑登録証明書	◎	◎	◎	◎	◎
借入状況等申告書	◎	◎	◎	◎	◎
売買契約書(写)・請求書(写)・納品書(写)・注文書(写) (いずれか一つをご提出ください。)	◎ 見積書は不可	◎ 見積書は不可	○		◎ 見積書は不可
医師の診断書(写)			○		
母子健康手帳(写)			◎		
医療機関が発行する見積書(写)			○		
工事契約書(写)又は請求書(写)				◎ 見積書は不可	
配置図(寸法が記載されているもの)				○	
平面図(寸法が記載されているもの)				◎	
法定代理人の同意書 (組員が未成年者の場合)	○	○	○	○	○

災害家財貸付

- ・普通貸付に準ずる書類
- ・災害証明書(本組合から災害給付の支給を受けたときを除く。)、事故証明書又は災害の事実がわかるもの(写真等)

特別貸付

提出書類 \ 貸付事由	1. 医療	2. 入学	3. 修学	4. 結婚	5. 葬祭
普通・災害家財・特別貸付申込書	◎	◎	◎	◎	◎
印鑑登録証明書	◎	◎	◎	◎	◎
借入状況等申告書	◎	◎	◎	◎	◎
経費の内訳書(写)・見積書(写)	◎	◎	◎	◎	◎
医師の診断書(写)	◎				
合格通知書・入学許可書(写)		◎	◎ (入学時)		
在学証明書			◎ (2年次以降)		
修学貸付に係る償還申請書			◎		
媒酌人・所属所長の婚約証明書又は披露宴招待状(写)				◎	
埋葬許可証の写し					◎
住民票又は除籍謄(抄)本					◎
貸付事由対象者の戸籍抄本 (貸付事由対象者が被扶養者でない場合)		○	○	○	○

※ ◎は必ず提出する書類、○は必要に応じ提出する書類となります。

※ 上記提出書類のうち、(写)と記されたものについては、原本又は写しのどちらかとなります。

※ 上記提出書類のほか、共済組合が必要とする書類を提出願う場合があります。